

6/25
2013年第1142号
(毎月5、15、25日発行)

大阪府歯科保険医協会
敬 志岐
大 阪 市 浪 速 区 幸 町 1-2-33
電 話 (06) 6568-7731 (代表)
http://osk-net.org/
● 定 価 年 間 10,000 円 月 1,000 円
● 1977年5月23日第三種郵便物認可

咀嚼の習慣付けによる健康づくりを呼びかけた
市民講座Ⅱ9日、M&Dホール



大阪連絡会
「保険でよい歯科医療を」

噛む力で心も体も健康に

市民講座で小野塚氏(神奈川歯科大学名誉教授)が提起

「歯を大切に咀嚼することを習慣付け、健康になろう」。9日にM&Dホールで開いた市民講座「良く噛んで食べる。噛めば脳が若返る」で、講師の小野塚実氏(神奈川歯科大学名誉教授)は、109人の参加者に咀嚼を通じた健康法の実践を呼びかけた。「保険でよい歯科医療を大阪連絡会」が主催した。

脳科学の観点から咀嚼と全身の健康について解説した小野塚氏は、咀嚼行為が運動機能をつかさどる小脳に好影響を与えることを指摘。「咀嚼で小脳をトレーニングすることで運動能力を高められる」と話した。

親子で歯磨き教室



「保険でよい歯科医療を大阪連絡会」は市民講座を開いた9日の午前に、保険医会館で歯科衛生士による「正しい歯のみがき方」教室を開いた。参加した家族連れや高齢者らにブラッシング指導した。

咀嚼習慣を付けた人の7割で体重が減少した。満腹中枢を刺激するだけでなく、糖尿病や動脈硬化の因子も改善したとして、「噛む力で肥満や生活習慣予防につながる」と強調した。

小野塚氏は最後に、「咀嚼を習慣付けることができれば、健康になれる。良く噛んで食べ、脳

さらに、ガム習慣で脳の海馬が刺激され、記憶力が15%以上アップしたことや、ストレス発散にもつながったことを説明。認知症の改善やうつ病予防も期待できると述べた。

家族で受講

「TPP参加は断念を」 大阪選出議員に要請



署名を受け取る山下芳生 参院議員(右)

国会行動
協会は、18日の保団連国会要請行動に参加、TPP参加断念、患者負担軽減、保険のきく歯科の治療の拡大などを地元選出国会議員に陳情した。行動には27協会、108人が参加。大阪からは下井戸昭介副理事長、森啓・中西幹夫各理事、永田悦夫顧問らが参加した。「国民皆保険制度を崩壊へ導くTPP参加断念を求め、TPP参加断念を求め、現場の声を紹介、国の責任を大幅に後退させる社会保障制度改革推進法の廃止や、診療報酬への予算配分などを訴えた。面談に応じた山下芳生参院議員(共産)に、「患者窓口負担の大幅軽減を求める請願署名」など106筆を託した。

や体、心を守り、健康になりましょう」と呼びかけた。市民講座には、大阪府や大阪市、新聞社、在阪テレビ局・ラジオ局などが後援した。講演の前には第4回総会を開き、2013年度活動方針として、署名や意見書採択の取り組み、講演会など6つの柱を提案し、了承した。総会にメッセージを寄せた国会議員
宮本岳志衆院議員(共産)、山下芳生参院議員(共産)

基軸 日本が行方と 新福祉国家 ④

都留文科大学名誉教授 後藤道夫



を12年度の生活保護利用数に比べて、最低生活費以下に放置

雇用破壊と「小さな社会保障」

生活保護制度大改悪のねらい

2010年の厚労省保護推計によれば、生活保護基準未満の収入の世帯は、生活保護利用世帯の5.5倍である。膨大な「漏給」だ。この割合

を12年度の生活保護利用数に比べて、最低生活費以下に放置

が4.1%いる。年金の制度目的に最低生活の「保障」は記されていない。政府は、高齢者は、貯金、アルバイト、仕送り年金の四つで暮らす

「特別な弱者」、「社会のやっかいもの」の烙印を押されると思い込まされているからだ。実は、困窮を「自己責任」で引き受ける、こう

「小さな社会保障」の大黒柱たる「ガマンと自己努力」が動搖・崩壊する可能性が生まれる。生活保護バッシングの力が逆を向く瞬間である。

ごとう・みちお 1994年、福島生まれ。一橋大学大学院博士課程単位取得。2013年4月から都留文科大学名誉教授。主な著書・編著に『新自由主義か新福祉国家か』『ワーキングプア原論』など。

支配層がそうした事態を予防拘禁したいと考えるのは不思議ではない。これが今回の生活保護制度大改悪の最大の理由である。(つひ)

別刷り(5・6面)に「特集 税務調査の対応と心得」を掲載

紙面へのご意見や感想、投稿記事などを新聞部までお寄せください。紙面に掲載させていただいた場合は、図書カード3千円分を進呈いたします。(郵送やファクスで、協会新聞部までお寄せください)

歯界

今回の参議院選挙の重大な論点の一つに改憲問題がある。

日本の平和憲法が維持されるのかどうかは、日本国民はもとより近隣の国々も関心する事である。

日本の経済力が劣化し、国際影響力も新興の中国などに押されつつある。一方ではアニメや寿司や治安や環境などで日本の文化や国づくりが高く評価されている。

その根底には日本の言行一致への信頼が高いことがある。平和や自由を叫んでも、同時に軍事的威圧を含んだ発言は誰もが眉唾で適度に聞いている。

時には日本も露骨な経済至上主義から他国から不信の目で見られる場面もある。だが根底には平和憲法を抱く日本へのリスペクトは経済以上のものである。種々多様な課題を抱える多くの国が平和と安定を目指し、そのため模範となり得る国策を日本の憲法に見出さうとしている。憲法の理想主義は人類の誇りである。